小型パソコン M6 リカバリー手順

1. リカバリー用USBメモリのデータ作成手順

Windows11Proのインストール方法(一度 USBメモリーにデータをダウンロードいただき、 インストールする方法となります)8GB以上のUSBメモリーをご用意ください。(USB メモリーにデータが残っている場合、フォーマットの際に USBメモリー内のデータが消え てしまいますので、データを他のパソコンやメディアに保存してから作業をしてください。) USBメモリーを他のPCに挿し込み下記の手順でフォーマットします。

リカバリーの方法:

+ + 💻	> PC				
 ★ クイック アクセス デスクトップ ◆ ダウンロード ※ ドキュメント ※ ビクチャ ※ ビデオ 	~ 7x1/9-	(7) 30オブジェクト Eユージック	900-F	5291-97	Pro-
 OneDrive PC WINPE (D) オットワーク 	4	Windows (C) 空音振荡 43.0 GB/57.5 GB	WINPE (D:) 고운영영 8.25 GB/	K(C) 耐(O) 耐しいウインドウで間く(E) クイック アクセスとどン協 自動再生を聴く(Y) Windows Defender でスキャンする	
				アクセスを許可する(G) ポータブル デバイスとして器く ライブラリに過30(I) スタートにビン営めする(P)	>
				フォーマット(A) 取り出し(J)	
				切り取り(T) コピー(C)	
				ショートカットの作成(5) 名前の変更(M)	
				プロパティ(R)	

ファイルシステムは「NTFS」、ボリュームラベルは「WINPE」

フォーマット - WINPE (D:)	×	
容量(P):		
14.4 GB	~	
ファイル システム(E)		
NTFS	~	
アロケーション ユニット サイズ(A)		
4096 /(イト	~	
WINPE		
WINPE		
フォーマットオブション(Q)		
フォーマットオブション(Q) ☑ クイック フォーマット(Q)		
フォーマットオフション(Q) ☑ クイック フォーマット(Q)		
7ォーマットオブション(Q) ☑ クイック 7ォーマット(Q)		
7ォ-マットオブション(型) ☑ クイック 7ォ-マット(型)		
フォーマットオブション(① ☑ クイック フォーマット(Ω) ■ 開始(S) 月	QIE	
フォーマットオブション(型) ☑ クイック フォーマット(型) ■ 開始(型) 月	"開始"ボ	タンをク

リックします。

下記のアドレスにアクセスして Windows11Pro をダウンロードしてください。

https://www.asuswebstorage.com/navigate/a/#/s/D318178CBBC442CAB736B310BBA25B66Y

M6Win11Proを解凍後、すべてのファイルコピーし、USBメモリーの中に貼りつけます。

ファイル(E) コマンド(C) ツール(S) お気に入り(Q)	オブション(N)	ヘルプ(日)								
正縮 アオルダに解凍 デスト 表示 首		919-F	 ・ ・ ・	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	Ę					
个 M Win11.zip - ZIP64 書庫, 合計サイズ 7,443,169,961 パイト										
ጋ ァイル名 ^	サイズ	格納	種類	更新日時	CRC32					
— .			ファイル フォルダー							
Boot	22,075,232	9,868,767	ファイル フォルダー	2022/03/01 13:						
DeployOS	5,333,943,7	5,290,223,2	ファイル フォルダー	2022/03/01 13:						
EFI EFI	20,862,884	10,706,839	ファイル フォルダー	2022/03/01 13:						
Sources	2,049,421,4	1,133,878,1	ファイル フォルダー	2022/03/01 13:						
Tools	14,426,615	11,267,388	ファイル フォルダー	2022/03/01 13:						
Bootmgr	436,642	411,286	ファイル	2022/03/01 13:	4051B8DF					
Bootmgr.efi	2,003,272	1,078,427	EFI ファイル	2022/03/01 13:	264F4FE3					
WinPE-USB.txt	104	82	テキスト ドキュメント	2022/03/01 13:	781723A8					

※上記のファイルは必ず USBメモリーの<mark>ルートディレクトリ(USB メモリの直下)</mark>に貼り付けてください。 こちらのやり方は、TPM2.0 の設定の必要はありません。

2.リカバリーの実施手順

上記でリカバリー用のデータを作成後、または付属のリカバリー用USBをご使用しUSB メモリーをパソコンに挿入してください、パソコンを起動してすぐに<F7>キーを連打しながら BIOSの画面開きます。Bluettothでキーボードを接続している場合、<F7>キーを押してもBIOSの 画面になりません。有線のキーボードで作業を行ってください。



起動ストレージの選択画面が表示されます。

Windows11Proのインストールディスクを入れたUER - (USBメモリーの名前)を選択します。



パソコンは自動的に再起動し、システムは下のウインドウを自動的に表示します。



ここからは何も操作はしないでください。プロセス全体は約10分ほどかかります。システムは 自動的にインストールを完了します。インストール完了後のウインドウは下の通りです。 任意のキーを押してください。システムは自動的に再起動になります。



パソコン再起動して、システムに入って、以下の画面になります。 そして、『OK』ボタンを押してください。パソコン再起動します。



再起動後、Windows のサービスがはじまります。 地域の選択です。①「日本」が選択されていることを確認し②「はい」をクリックします。



キーボード・レイアウトの設定です。「はい」をクリックします。



「スキップ」をクリックします。

※2つ目のキーボード・レイアウトが必要な場合は「レイアウトの追加」をしましょう。



PC の名前を入力し「次へ」をクリックします。



ネットワークの設定

Windows11 Proで、ネットワーク接続していなくても [次へ] ボタンの左横にある

[インターネットに接続していません]をクリックすれば、オフラインでセットアップが実施できます。



デバイスのプライバシー設定の選択です。①「はい」「いいえ」を選択し ②「同意」をクリックします。

しばらくすると PC が再起動されます。



このようにデスクトップが表示されます。 これで Windows 11 のクリーンインストールは完了です。 <mark>※Windows Pro エディションの初期設定では Microsoft アカウントの作成は任意で、</mark> <mark>オフラインアカウントでの設定も可能なことを確認しています。</mark>



メーカー出荷前ライセンス認証済み、システムを再インストール後、インターネットに接続されていると 自動的にライセンス認証が行われます。一度、ライセンス認証すれば、同じパソコンなら何度インストール しても構いません。

